



3

施策評価 シート



【施策評価シートの見方】

目標（１）

まちへの想いを育み、
未来を切り開くチカラを高めます



▲しあわせづくりフォーラム

I. 目指す姿【PLAN】

総合計画から転載しています。

目標達成に向けての考え方	「いつまでも住み続けたい！」と思える高浜市を創っていくために、まちの目指す姿を共有し、市民・地域・行政がそれぞれの力を高め、みんなで連携・協力して、未来を切り開くチカラへとつなげていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ◇ まちへの愛着や誇りが高まり、まちのことを「自分のこと」として考えています。 ◇ まちづくりの課題や目標が共有され、一人ひとりが自分にできる行動を起こし、まちづくりの輪が広がっています。 ◇ 高浜市で暮らす日常の「心地よさ」を実感する人が増え、まちに笑顔があふれています。 ◇ 職員は、市民や地域の想いに寄り添いながら、職員力を磨き、課題の解決に向けて積極的に行動しています。

II. 目標達成のための主な取組み【DO】

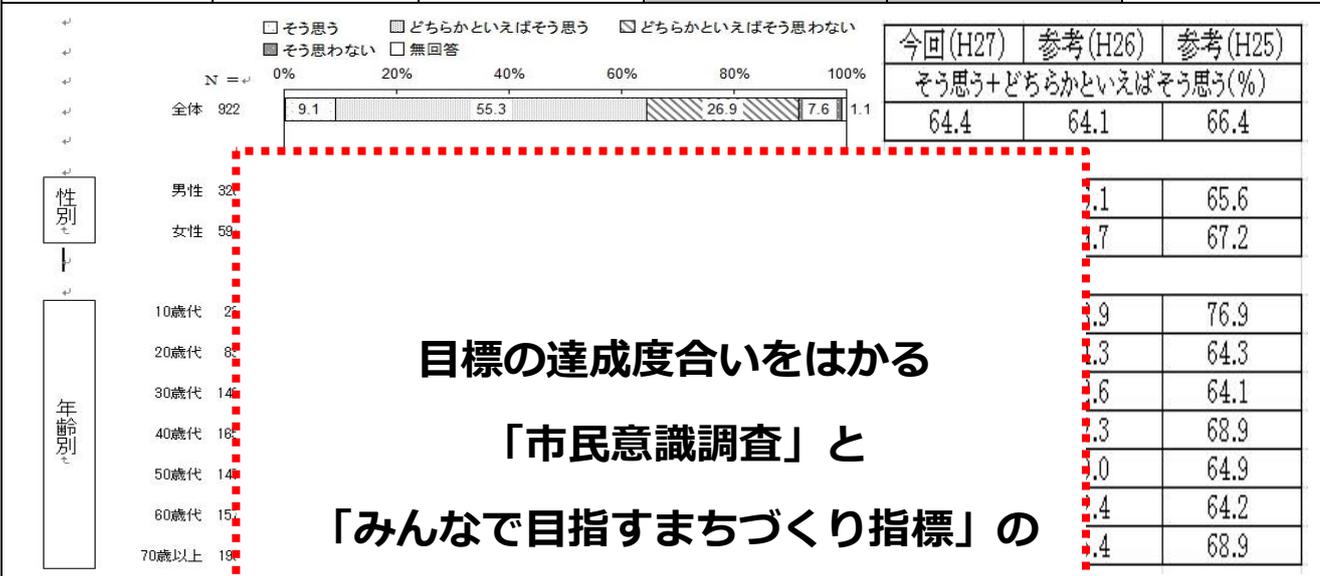
こんなことに取り組みます！	何を・どのように・どうした	いつ
(1) 市民と行政がお互いにコミュニケーションをとり、市政運営やまちづくりに関する情報発信・情報交換を活発に行います。	①ホームページのトップページリニューアルを行った。	H27.10
	②市政情報を手軽に入手することができるように、広報 1/1 号より「i 広報紙」の配信を開始した。	H28.1
	③市政に対する関心・理解を広める広聴活動として「まちづくりトーク&トーク」を実施し、広報にその模様を掲載した。	H27.12 H28.3
(2) 市民・地域・行政がそれぞれの得意分野を活かすにもまちづくりに取り組んでいくための環境を進めます。	①まち協サミットにおいて、交付金制度の見直しを協議した。	H27.6～ H28.3
	【行政の記載内容】 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 中期基本計画で掲げた目標の達成に向けて、平成 27 年度にどんなことに力を入れて取り組んできたか、主な内容を記載しています。 ◇ 事業の実施にあたり、まちづくりの基本原則である「参画・協働・情報共有」において、工夫・配慮した点について記載しています。 	H27.6～ H28.3 H27.5～10
(3) “大家族”のみんなな生活を送ることができるよう、高浜市で暮らしの「心地よさ」を高めます。	【推進会議の着眼点】 平成 27 年度に実施した取組内容は、目標達成のための手段として適切だったか。	H28.3
		H28.3
(4) 現場を第一に考え、啓蒙を持って課題に取り組むため、職員高めます。	【推進会議の着眼点】 平成 27 年度に実施した取組内容は、目標達成のための手段として適切だったか。	H27.4～ H28.3
		H27.5～ H28.3
参画・協働・情報共有の工夫	☆フェイスブックで双方向型の情報共有を進めている。 ☆交付金のあり方検討においては、各まち協の想い・悩み等を聞き取りながら、丁寧な意見交換を心がけた。 ☆しあわせづくり計画ワークショップのメンバー募集については、市内の商店や企業、高校、他の事業で絡みがある大学生へのアプローチなど、新たな層の人材発掘に努めた。	H27.6～ H28.3

Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】

1. 市民意識調査結果

【設問】まちを愛する想いが育まれ、市民みんなが連携・協力して、まちづくりを行っているまちだと思う

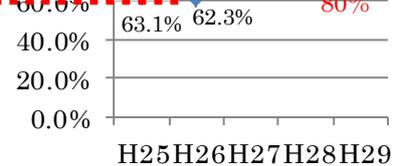
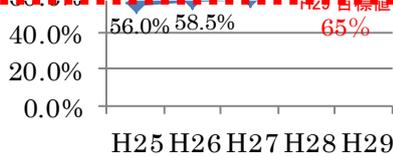
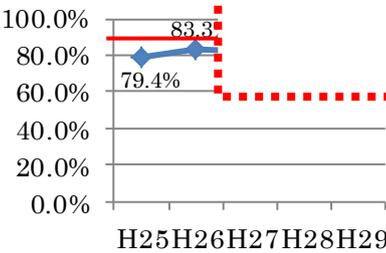
現状値 (H25)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	動向
66.4%	64.1%	64.4%			○



目標の達成度合いをはかる
「市民意識調査」と
「みんなで目指すまちづくり指標」の
数値の推移を示しています

2. 「みんなで」

1) いつまでも高
たいと思って



3. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する分析（要因・課題等）

- ・指標 1.1 持ち誇りの取
- ・指標 きくに比 発信を幅
- ・指標 ず、に 応 などを

【行政の記載内容】

「市民意識調査結果」や「指標の推移」を踏まえ、指標（目標）が達成できた要因・達成できなかった要因の分析、「市民意識調査結果」や「指標の推移」から見てきた課題を記載しています。

※指標の目標値を見直す場合は、見直しにあたっての考え方と新たな目標値を記載しています。

【推進会議の着眼点】

- ① 「Ⅱ. 目標達成のための主な取組み」の成果との関連を踏まえた分析が行われているか。
- ② 指標等の結果から見てきた課題が、適切に分析されているか。
- ③ 課題解決に向けた考え方・方向性が示されているか。
- ④ 「みんなで目指すまちづくり指標」や目標値の見直しは必要ないか。

1) は
いう気
愛着や
るため

べて大
前年
果等の
っかけ
る。

かわら
の達成
A) な

IV. 課題と今後の取組み【ACTION】

課題	課題解決に向けた新たな取組み（案） 見直し・改善（案）	いつまでに
<p>(1) まちづくりの裾野を広げる取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民意識調査の設問である「まちを愛する想いが育まれ、市民みんなが連携・協力して、まちづくりを行っているまちだ」と思う人の割合が策定時に比べ低下している。まちづくりに参加するためのきっかけづくりを進めるとともに、市民活動情報や活動効果の発信強化が必要である。 指標1) 2)の結果を見ると、特に20・30歳代の割合が全体と比較し大きく低下している。若いうちからまちに対して愛着や誇りを持ち、自分のまちを“こうしたい”“よくしていきたい”と考える人 市民 歳代 まち 人の への 	<ul style="list-style-type: none"> 広報やフェイスブック等を活用しながら、まちの良さ、まちづくり協議会や町内会活動など現在行われている地域活動の内容や活動に対する想い、成果などの見える化をさらに強化することで、まちづくりを身近なものと感じ、まちのことを「自分のこと」として考え、まちづくりに参加する人を増やしていく。 「まちづくり出前授業」のさらなる発展を図り、子どものうちから“まちのことが好き”と言える人、まちづくりの一步を踏み出す人を増やしていく。また、保護者にも参加を呼びかけ、まちづくりの大切さを訴えていく。 	<p>H29.3</p> <p>H29.2</p>
<p>(2) の総 ・(仮 提案 心な 事業 責任 り、 事業</p>	<p>【行政の記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 平成27年度の取組みや市民意識調査結果・指標の状況から見えてきた課題、新たに発生している課題を3つ挙げています。 ◇ どのように、また、いつまでに課題解決に取り組んでいこうと考えているのか、新たな取組み（案）や見直し・改善（案）を記載しています。 ◇ 事業の実施にあたり、まちづくりの基本原則である「参画・協働・情報共有」において、今後工夫・配慮していく点について記載しています。 <p>【推進会議の着眼点】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「課題」は、「市民意識調査」や「みんなで目指すまちづくり指標」の分析を踏まえたものとなっているか。 ②「課題解決に向けた新たな取組み（案）や見直し・改善（案）」は、課題を的確に踏まえたものとなっており、具体的な事業を想定して記述されているか。 	<p>9.3</p> <p>9.3</p> <p>9.2</p>
<p>(3) るま ・地域 への “さ る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ③特に、指標等が低下したものについては、新たな取組み（案）や見直し・改善（案）がしっかりと練られているか。 ④記載内容の他に、目標の達成に向けて改善すべき課題や今後の取組みにつながるアイデアはないか。 <p>めに、年間を通して地域について学び、自分事として考えることで、地域活動参加の“大切さ”や“楽しさ”を次の世代に伝承する仕組みとしていく。</p>	<p>8.4</p> <p>H29.3</p>
<p>参画・協働・ 情報共有の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆文字サイズ、色など広報誌面デザインにも市民意見の反映を行う。 ☆一括交付金制度の説明会開催にあたっては、市民に制度の趣旨・目的・内容を十分理解していただけるよう、聞き手の立場に立ったわかりやすい説明を心掛ける。 ☆若手職員成長支援研修では入庁後から地域に目を向けた研修を行っていく。 	

V. 第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果【CHECK】

推進会議委員からのコメントをまとめています。

II. 目標達成のための主な取組み【DO】に関して

平成27年度に実施した取組内容は、目標達成のための手段として適切だったか。

III. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】に関して

- ① 要因分析や課題把握は的確か。
- ② 「みんなで目指すまちづくり指標」や目標値の見直しは必要ないか。

IV. 課題と今後の取組み【ACTION】に関して

- ① 課題が的確に把握されているか。
(市民意識調査や指標結果に対する要因分析内容が踏まえられているか)
- ② 課題解決に向けた新たな取組み(案)や見直し・改善(案)は、課題を的確に踏まえたものとなっており、目標達成に資する内容となっているか。
- ③ 行政が記載した内容の他に、目標の達成に向けて改善すべき課題や今後の取組みにつながるアイデアはないか。

その他、目標の達成に向けて

目標の達成に向けた自由意見

(例：感想、行政に対する今後の期待、市民・地域でできること など)